

最近のインバウンド関連政策について

令和元年5月23日
観光庁国際観光課長
伊地知 英己

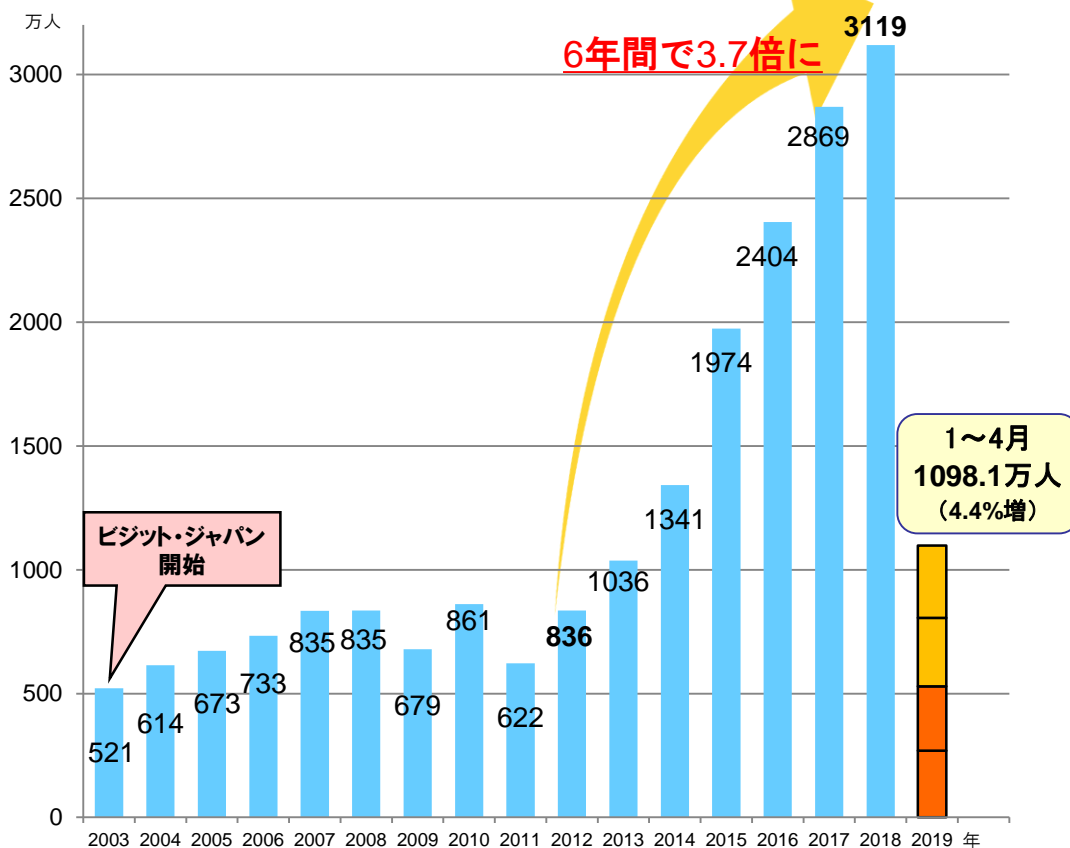
訪日外国人旅行者数

○ 2018年(平成30年)の訪日外国人旅行者数は、**3,119万人(対前年比8.7%増)**と初めて3,000万人を突破し、過去最高を記録した。(外国人旅行者受入数：**世界で11位、アジアで3位に相当※**)

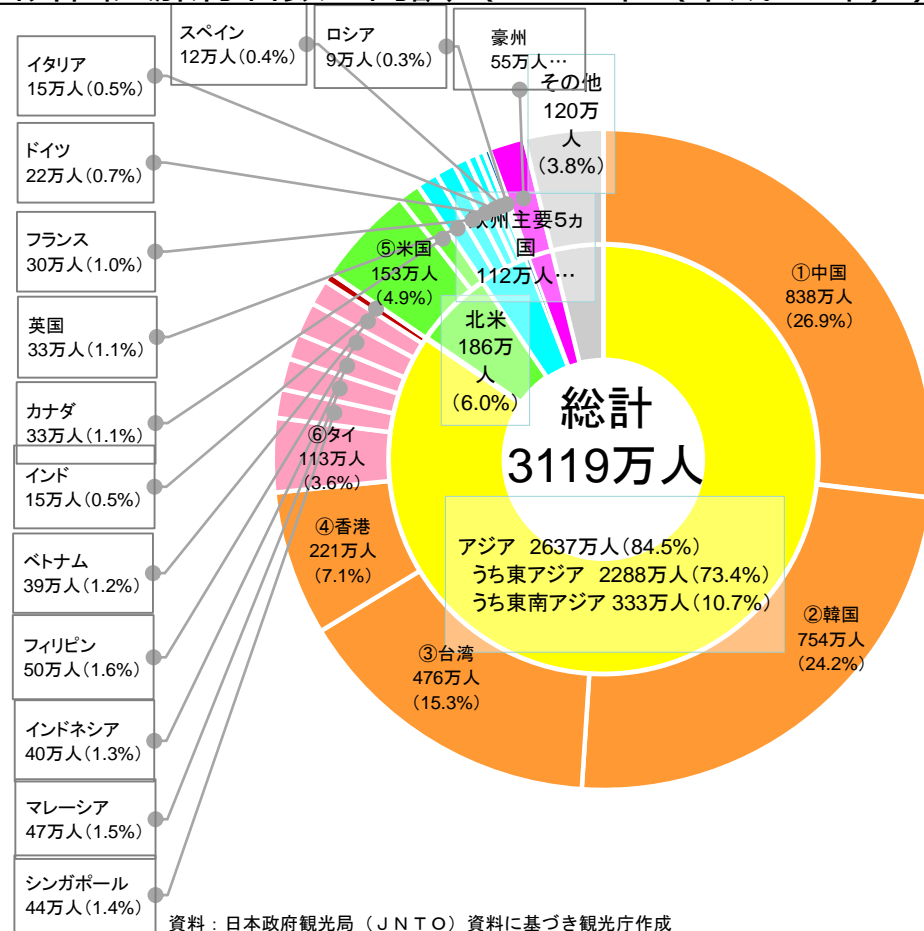
※ 2017年またはそれ以前の数値との比較で暫定順位であり、変動があり得る。

○ 訪日外国人旅行者数の内訳は、アジア全体で2,637万人(全体の84.5%)となった。また、市場別では中国で800万人を、米国で150万人を、タイで100万人をそれぞれ初めて突破した。

訪日外国人旅行者数の推移



訪日外国人旅行者数の内訳 (2018年 (平成30年))



資料：日本政府観光局 (JNTO) 資料に基づき観光庁作成

注1：()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア

注2：「その他」には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。

資料：日本政府観光局 (JNTO) 資料に基づき観光庁作成

注) 2017年以前の値は確定値、2018年の値は暫定値、2019年1月~3月の値は推計値、

%は対前年同月比

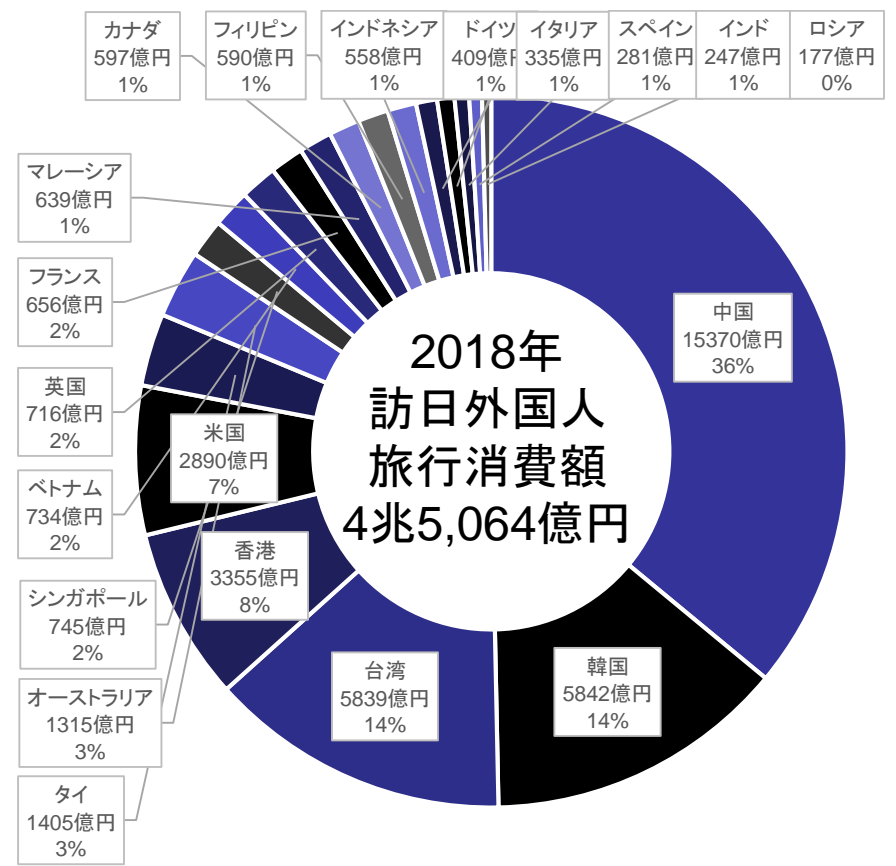
訪日外国人旅行消費額

○2018年の訪日外国人旅行消費額(速報)は、過去最高の4兆5,064億円。2012年(1.1兆円)以降7年連続対前年増を継続。
 ○国籍・地域別に旅行消費額をみると、中国が1兆5,370億円(構成比34.1%)と最も大きい。次いで、韓国5,842億円(同13.0%)、台湾5,839億円(同13.0%)、香港3,355億円(同7.4%)、米国2,890億円(同6.4%)の順であり、これら上位5カ国・地域で全体の73.9%を占める。

訪日外国人旅行消費額の推移

年	訪日外国人旅行消費額
2012年 (平成24年)	1兆846億円
2013年 (平成25年)	1兆4,167億円
2014年 (平成26年)	2兆278億円
2015年 (平成27年)	3兆4,771億円
2016年 (平成28年)	3兆7,476億円
2017年 (平成29年)	4兆4,162億円
2018年 (平成30年)	4兆5,064億円

【2018年(速報値)】



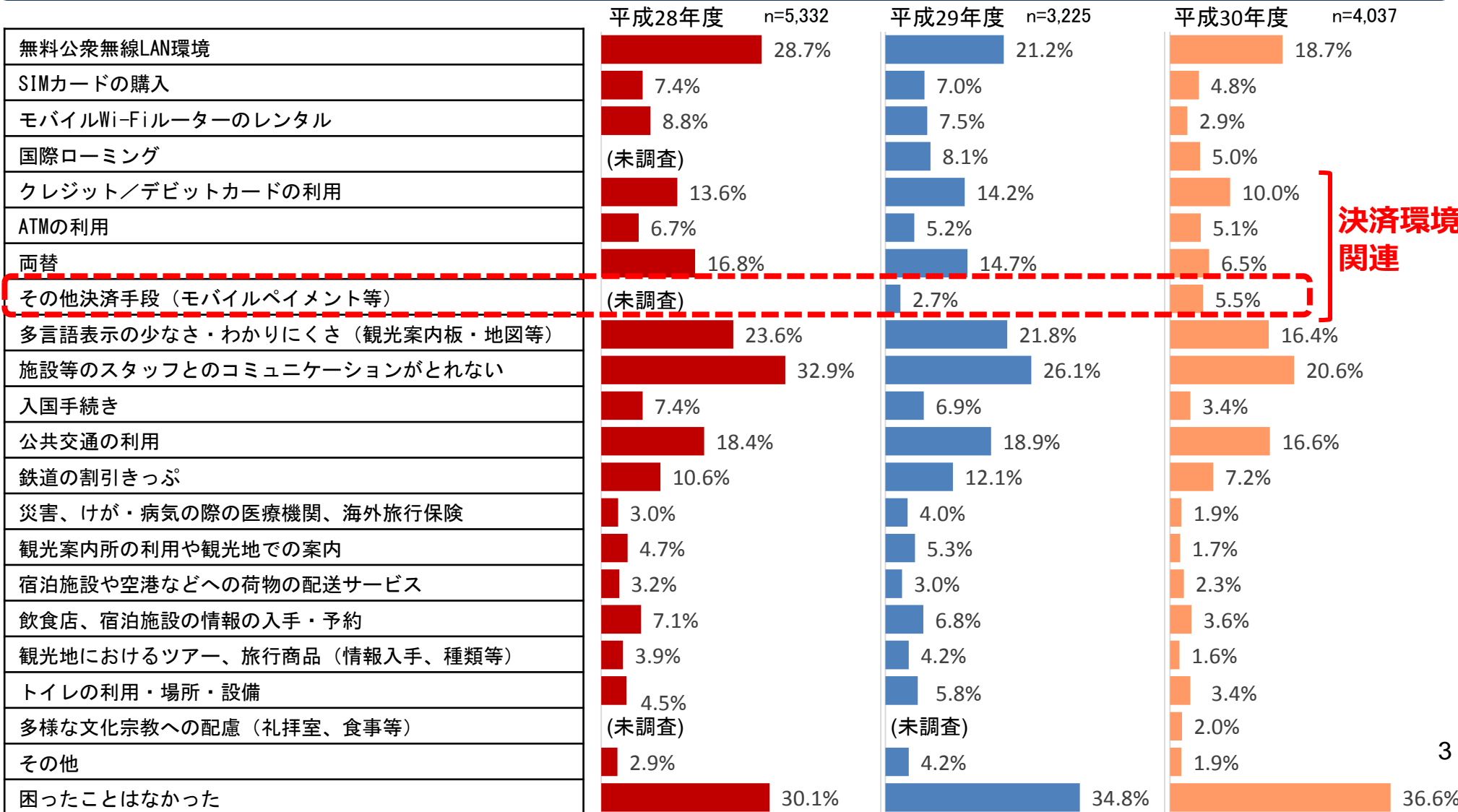
資料: 訪日外国人消費動向調査(観光庁)

注) 従来は空港を利用する旅客を中心に調査を行っていたが、短期滞在の傾向があるクルーズ客の急増を踏まえ、2018年からこうした旅客を対象とした調査も行い、調査結果に反映したところ。従来ベースの推計方法で2018年の旅行消費額を推計すると、4兆8千億円となる。

注) パーセンテージは、訪日外国人旅行消費額全体に対する割合
 注) 速報値につき、今後、数値が更新される可能性がある。

訪日外国人旅行者の受入環境に関するニーズの変化

○平成30年度の調査ではほぼ全ての項目で改善が見られ、「困ったことはなかった」の回答が36.6%となった。
 ○決済環境関連について、平成29年度と平成30年度を比較すると、各項目、困った比率は減少しているものの、「**その他決済手段（モバイル決済等）**」が**唯一増加（全項目においても唯一増加）**しており、ニーズが高まっているといえる。



(出典)平成29年度訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート

国際観光旅客税とその用途

平成31年1月7日以降の出国に適用 出国1回につき1,000円
下記3分野に充当

1. ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備

- ・円滑な出入国・通関等の環境整備
- ・FAST TRAVELの推進
- ・公共交通利用環境の革新等
- ・ICT等を活用した多言語対応等による観光地の「まちあるき」の満足度向上
- ・旅行安全情報共有プラットフォームを通じた旅行者の安全の確保



自動チェックイン機



顔認証ゲートの導入



多言語音声ガイドの整備

2. 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化

- ・ICTの活用等による先進的プロモーションの実施



グローバルキャンペーン等の先進的プロモーション

3. 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上

- ・地域資源を活用したコンテンツの造成等
- ・最先端観光コンテンツ インキュベーター事業
- ・地域観光資源の多言語解説整備支援事業
- ・文化財等や国立公園を活用したインバウンドのための環境整備



首都圏外郭放水路の一般見学



日本博を契機とした観光コンテンツの拡充

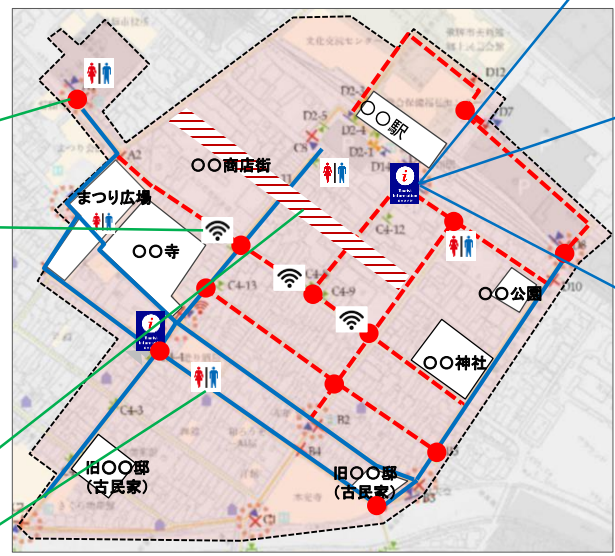
観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業

○訪日外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等において、**まちなかにおける面的な取組**や、これらと一体的に行う観光地のゲートウェイとしての外国人観光案内所等を集中的に支援し、「**まちあるき**」の満足度の向上を目指す。

○あわせて、観光地の災害等の**非常時の対応能力の強化**を図る。

補助率	2分の1
地域要件	以下を含む、訪日外国人旅行者の来訪が特に多い、又はその見込みがある観光地として観光庁が指定する市区町村における事業を対象とする。 1) 訪日外国人旅行者の評価が高い観光地 2) 重要な文化財や国立公園が所在する地域 3) 国際的なイベント・会議の開催等により、訪日外国人旅行者の来訪が多く見込まれる観光地
事業主体	※詳細は補助事業要綱を参照 ●整備計画作成主体：市区町村、DMO ●補助対象事業者：地方公共団体、民間事業者及び協議会等

■整備計画
当該事業は、計画区域の課題解決に向け、計画区域内における**受入環境整備を一体的に実施する取組**を支援。



■まちなかの周遊機能の強化 (まるごとインバウンド対応)

○まちなかにおける多言語観光案内標識の一体的整備

○無料エリア Wi-Fiの整備

○地域の飲食店、小売店等における多言語対応・先進的決済環境の整備

○公衆トイレの洋式便器の整備及び清潔等機能向上

■観光地のゲートウェイとしての外国人観光案内所等の機能の強化

○情報発信機能の強化

○訪日外国人旅行者への対応力の強化

○外国人観光案内所等の情報提供基盤の強化

○非常時の対応能力の強化

備考

○整備計画は、市区町村またはDMO※が、観光地ごとに単独または共同で作成する必要があります。

○「非常時の対応能力強化」においては、単体での事業も支援します。その場合、整備計画の策定を必要としません。

※DMO又はその候補として観光庁長官の登録を受けた法人であって指定市区町村の区域において事業を行うもの

災害時に訪日外国人旅行者への情報提供に役立つツール集

○災害時に、訪日外国人自身の情報収集等に役立つツール

①ホームページなど

(1) JNTOグローバルサイト【英語対応】
 災害発生時、JNTOグローバルウェブサイト
 (<https://www.jnto.go.jp/>) の**Important Notice**
 において、災害時に関連リンクのページを設置



※台風25号時の特設ページ

(2) Japan Visitor Hotline
 (JNTOコールセンター)
 JNTOでは24時間、英語、中国語、韓国語及び日本語による電話問合せ対応を実施
 電話番号:050-3816-2787

(3) NHKワールド JAPAN【英語対応】
 日本やアジアの最新ニュースを発信する24時間英語チャンネル
 地震や台風などの大きな災害時に英語による情報源として活用可能
 (<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/>) ※台風24号時 NHK放送において、NHKワールド
 へのQRコードと英字での誘導が行われた

②アプリなど

(1) JNTO公式スマートフォンアプリ【英・中・韓 4言語対応】
 スマートフォン向け観光情報アプリ「Japan Official Travel App」では
 緊急地震速報、気象特別警報等の災害情報を通知でお知らせ

(2) 災害時情報提供アプリ「Safety tips」
 【日・英・中・韓 5言語対応】
 「Safety tips」アプリでは、訪日外国人等へ向けて災害関連情報を発信

(3) JNTO(Japan Safe Travel) twitter【英語対応】
 JNTOが運営する「Japan Safe Travel(JST)」のアカウントで自然災害の
 発生時に外国人旅行者が必要とする情報を発信 アカウント：@JapanSafeTravel

○災害時に、訪日外国人へのご案内に役立つツール

①多言語音声翻訳システム(VoiceTra等) 【日・英・中・韓 等31言語対応】

話しかけると外国語に翻訳してくれる音声翻
 訳アプリ「VoiceTra」が
 試験的に利用可能

※「VoiceTra技術」を利用した民間製品もあります
 (http://gcp.nict.go.jp/news/products_and_services_GCP.pdf)

②首相官邸 twitter 【日本語のみ対応】

首相官邸から災害・危機管理
 関連の政府活動情報をtwitter
 により発信



※10月5日の緊急
 地震速報ツイート

③医療関係情報

(1) 訪日外国人対応可能な医療機関リスト 【日・英・中・韓 5言語対応】

外国語で診療対応のできる医療機関を
 診療科や対応言語などから検索可能
 (http://www.jnto.go.jp/emergency/jpn/mi_guide.html)

(2) ガイドブック

【日・英・中・韓 等6言語対応】
 日本の医療機関のかかり方、症状を伝える
 際に使える指さし会話シート等を掲載
 (<http://www.jnto.go.jp/emergency/jpn/support.html>)

日本博の開催について

日本人の美意識・価値観を国内外にアピールし、その発展及び国際親善と世界の平和に寄与するために実施。昨年は「ジャポニスム」としてフランスで開催、今年は米国等で開催。

2020年の「日本博」については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として日本の全国各地で実施。

総合テーマ「日本人と自然」の下に、「美術・文化財」「舞台芸術」「メディア芸術」「生活文化・文芸・音楽」「食文化・自然」「デザイン・ファッション」「共生社会・多文化共生」「被災地復興」などの各分野にわたり、縄文時代から現代まで続く「日本の美」を国内外へ発信。

